

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

225号



2020年6月30日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 有識者会議ができる？

赤羽国交省大臣は、衆議院国土交通委員会で公明党岡本議員の質問に対し、新経路の固定化を回避する方策を検討する有識者会議を6月中に設置するよう航空局長に指示したと表明。

ガス抜き、選挙対策、と色々見方はあるが、良い方向に発展することを期待するしかない。

○ ブルーインパルスの飛行は

コロナウィルス騒ぎのなか、医療関係従事者を激励するためと、ブルーインパルスが編隊飛行を都心上空で見せました。板橋区の上空はご丁寧に2回も飛んでくれました。

しかし、肝心の看護師さんや医師たちは、看護や手術やで見ているひまもなかったそうです。屋上で歓声を上げていた所は自衛隊病院だったそうで、やらせ？という声もありました。特に都内はこの新航空路が始まって、空に敏感になっているのに、わざわざその上空を飛ばなくても良かったとか税金の無駄遣いとか言われ、折角の好意？も空回りのようでした。

○ 行政訴訟始まる

6月12日、「羽田問題訴訟の会」は国交省に対し行政訴訟を起こしました。原告は26名ですが、表面には出ていない参加者がいます。

サポート希望者は 黒田さん (090-1460-8509) までぜひご連絡下さい。応援したい方は 銀行口座へご寄付を！「ゆうちょ銀行(支店)138 (普通)1142264 羽田問題訴訟の会」です。

○ 「図書館跡地に音楽ホールを！」 追加署名を提出しました

このコロナウィルスのために、音楽関係の集まりは、コンサート、イベント、果ては練習まで会場閉鎖とか講演中止とかで全く動きがとれず、署名集めも殆ど不可能でした。にもかかわらず第一次提出後、ぼつぼつと届いた署名を6月12日に提出しました。206筆、うち地元常盤台1・2丁目38筆(累計2434筆となり、地元の署名数は973筆となりました)

区長宛ての署名なので、区長室に提出、その後企画総務部にも報告しておきました。

そのどちらにも、区長との面談と地元常盤台住民にたいする説明会の開催を要請しました。

○ インターネット署名

作曲家の小林樹さん提案で、音楽ホール建設の署名をインターネットでもできます。

<https://hikarunoatorie.info/tokiwa-signature/>

こちらで署名を受け付けていますので、拡散していただければ幸いですとのこと。

○ 低空飛行中止の署名も

「羽田問題解決プロジェクト」という市民団体が硬軟両面からこの問題の解決を図って活動しています。以前から活動している「羽田増便による都心低空飛行計画に反対する東京連絡会」と合同で、署名運動を行っています。

7月中旬の集約を目標に、この危険な都心低空飛行の中止を求めています。真上を飛ばれている常盤台住民としても以前の静かさを取り戻すべく協力したいと思っています。署名用紙のご請求をお待ちしています。

カルガモの赤ちゃん

平和公園のコンクリートの池で、今年もカルガモが雛を孵し、可愛い六羽の雛が元気に泳ぎ回っています。一人前になるにはまだまだかかりそうです。ときわ台駅前の噴水池に所在なさげに浮かんでいたあのカルガモ夫婦はどうなったのでしょうか。

アベノマスクの行方

アベノマスクを寄付する人が多いそうです。菅官房長官は第二次流行に備えて保管しておいて、と言っていますが、そのころには使い捨てマスクや、もっとしっかり顔を覆う布マスクが出回っているのに、寄付に廻したくなるのは当然です。遅すぎるし、税金の無駄遣いでした。

今回のような税金出費にむらがる人間がなんと多い事か。引き受けた業務をそっくり再委託し、税金から中間マージンを取るなんて国民に対する犯罪行為です。しっかり行方を追って行ってほしいものです。

マーマレードだけのバザー

七月五日は都知事選挙です。今回はまだコロナウィルスの心配があるので、いつものバザーは中止、はなづくりの会のマーマレードだけ売らせて頂きます。

いつもの常盤台小学校正門前のKさんのガレージでの予定。ひと瓶五百円也。

有識者会議とは

赤羽国交省大臣が有識者会議を発足させるそうです。正式名称は「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」。固定化と言う言葉の解釈にも問題があるようでしたが、関係自治体等からの新経路の固定化回避に向けた要望を受け「騒音軽減等の観点から継続的に検討する」とし、現在の滑走路の使い方を前提としつつ、騒音軽減等の観点から見直し可能な方策がないかについて検討を行うためにこの検討会を立ち上げ、六月三十日に第一回を開催することとしたと発表しました。

検討会は航空管制や飛行方法についての技術的知見を有する有識者及び専門家、パイロットから選ぶというので、「羽田問題解決プロジェクト」が杉江元日航機長を推薦しましたが、案の定不採用、小林宏之氏というメディアで賛成論を展開している元機長が選ばれました。

危険を主張する人の意見を聞こうとしないのでは、いつものアライバイ作りの会議かとなります。

コロナの有識者会議も政府に忖度しなかったためか、いきなり解散を通告されましたが...

柴田翔さんの本が読めます

芥川賞作家柴田翔さんの常盤台の思い出を綴った本「記憶の街角 遇った人々」は絶版になっていて、手に入らないと言われていましたが、Tさんが本屋のイトマイさんに寄付してくれたので、イトマイさんの喫茶部に備え付けの図書として読むことが出来ます。貸し出しについてはイトマイさんにお聞き下さい。

常盤台公園のはなづくり

板橋区から今回は苗の提供がないので、北口公園と常盤台公園の花壇の花は、地元ボランティアが三丁目の駐車場の花屋さんやビバホームから購入しました。

節約のため、花壇手前の手入れしやすい部分は、ポーチュラカをちぎって挿し芽にし、成長をまつことにしました。ちようど梅雨の時期なので、すぐ根が出ると思います。

今回、公園の花壇としては初めてイトマを植えてみました。薄紫色で、背景のアガパンサスの薄紫色と調和して、なかなかの風情です。

パンジーなどは実を付けると花数が少なくなると言われているので、花がらを頻繁に摘みますが、イトマにも同じ事が言えるのでは無いかと思い、実験的に花の済んだあとの実を取り去ってみることにしました。うまくいけば花期を延ばせるかもしれません。

チューリップの球根を早々と注文しました。今年とほぼ同じものになりましたが、これも実験的に、紫とピンクの球根を十個ずつほど残して植えることにしました。殆どはウィルスにかかって縞模様になってしまおうと思いますが...

